

津人教安濃支部紹介

支部のなかで大事にしていることについてお聞かせください！

安濃支部では、幼保、小中学校の職員と行政職員が協力し、人権課題についてしっかりと情報を共有することを大切にしています。特に、安濃人権フェスティバルの開催に向けて、議論を行い、子どもたちと地域が人権課題を通して、つながる機会になることを目指しています。

どんな小さなことでも、各学校での人権問題を共有し、みんなで話を聞くということを大切にしています。そして、人権Ⅱ担当が各職場の方に情報共有し、安濃支部全体で人権問題を考えるようにしています。

あなたの支部の特色を教えてください！

安濃支部では、「学校(園)教育部会」、「社会教育部会」、「行政/企業部会」の三部会を機軸として、活動を進めています。それぞれの部会の主体的かつ連携した取り組みを通し、人権・同和教育の深化・充実を図っています。部落差別、外国につながる人々への差別、反差別と人権確率のために取り組んでいます。

学校教育部会の取り組みとしては、人権標語メッセージ、人権ポスターなどがあげられます。本来ならば、人権フォーラムも取り組んでいますが、今年は実施できませんでした。自分や自分とつながる人との関わりを見つめなおすことや、友だちとのつながりや自分自身がこれからしていきたいことを大切にしています。

社会教育部会では、「安濃人権フェスティバル」を地域啓発の重要な柱として位置付けています。それぞれの地域の子どもを取り巻く状況を報告・交流し合い、将来的には子どもの支援の方向性を協議し、提言できるように取り組んでいます。

行政/企業部会では、「一人ひとりの人権が尊重される津市」の実現を目指して、毎年人権ポスターの募集を行い、ポスター展を開催し人権への理解をより一層深め、人権意識の高揚を目指しています。

3つの部会でしっかりと情報を共有し、人権課題を解決できる支部を目指しています。